

とよひら・リンク NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・リンク」事務局

札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



とよひら・リンク

ホームページ: <http://www.toyohiralink.jp/>

令和6年度 第2回合同会議を開催しました。

令和6年8月26日（月）18:00～19:30（Zoomによるオンライン開催）

令和6年度、第2回「合同会議」を開催いたしました。医療・介護関係者等、91名が参加されました。今回もZoomの接続、講演中のミュート等、円滑な運営の協力ありがとうございました。

令和6年度診療報酬改定、介護報酬改定で医療機関と介護保険施設等の連携の推進の評価が行われました。西岡病院と関連の各介護施設とのカンファレンス等の取り組みについて、西岡病院医療介護相談センターの横田法律 医療ソーシャルワーカーから報告の後、特別養護老人ホームみどりの丘、ケアハウス（特定施設）グリーンライフ光陽、介護老人保健施設福住の丘の各施設担当者からコメントをもらいました。

2024年8月現在、西岡病院と本加算関係で連携をしている介護施設は以下の8施設です。

連携協議の事業所（2024年8月）8施設

介護医療院（1施設）

- ・小坂病院

グループホーム（1施設）

- ・アメニティ西岡水源池グループホーム

特別養護老人ホーム（1施設）

- ・みどりの丘

特定施設入所者生活介護（2施設）

- ・グリーンライフ光陽、シルバーハイツ羊ヶ丘1.2番館

介護老人保健施設（3施設）

- ・アメニティ西岡、ライフふくまつ、福住の丘

協力医療機関連携加算 他

- ・診療報酬、介護報酬上の加算
- ・入院、感染管理等の連携

<<アンケート>>（一部）

- ・法人内外の連携協議について知る機会となった。
- ・丁寧でわかりやすい内容でした。連携することの意義を改めて感じました。
- ・従前は必要時に受診や入院の相談をさせて頂いていたが、毎月定例で会議を開催されることにより連携が強化できると認識しております。同じ法人内の医療機関ですし、老健への入所を検討中のケースを紹介して頂くこともあり、非常に恩恵を受けています。当施設は医療機関が併設ではなく、施設内で医療的対応が困難な場合が多くありますので、今後も連携を強化していきたい。
- ・グループホームでも加算を算定しており、どのように取り組めばよいのかわかった。

続いて、介護医療院小坂病院 小坂 昌宏 院長に介護医療院の仕組みや小坂病院の取り組みについてご講演をいただきました。小坂病院が行っている「穏やかに過ごすために心がける 6 つの事」や ACP の取り組みについて共感を得た参加者が多くいました。（以下抜粋）

穏やかに過ごすために心がける6つの事

- 1 これから起こることを知ってもらう事
- 2 痛みや呼吸苦などの苦痛症状を緩和すること
- 3 誰かの役に立っていると知ってもらう事
- 4 入院が負担にならないようサポートする事
- 5 穏やかな環境である事
- 6 人生を完結したと実感してもらう事

ACP 当院の特徴

当院へ入院した際には、脳梗塞・脳出血後遺症や認知機能の低下などのため、ご自分で判断することが困難になっている方がほとんどです。すでに経管栄養を開始した状態で転院してくる方も多い ACP についてのお話しをご家族だけにすることが多い

患者さんご本人が元気だった時に、ACP について話をしたらご本人だったらどう答えるような性格の方でしたか？というスタンスで ACP についての話をするようにしている（あえて家族がどうしてあげたいか、という点にはあまり重点を置かないように話している）

同時に、キーパーソンやその周囲の方が帰宅した際に、自分たちの ACP についての議論をしてもらえるような話をするようにしている（次の世代へ向けてのメッセージとして）

<<アンケート>>（一部）

- ・ ACP への取り組みにて次世代にも自分たちの ACP を意識づける話がとてもよかった。
- ・ 穏やかに過ごしていただけるための心がけや意思疎通が困難な方のご家族への ACP の話の仕方がとても参考になりました。
- ・ 当院と連携が深い施設情報を知る機会はこれまでなかったもので、とても勉強になったし、安心して患者さんを送り出すことが出来ると実感する機会となった。
- ・ 小坂先生とチームを組んでいるスタッフの皆さんは日々充実した業務をなさっているのだらうと感じました。わかりやすく、具体的な方針と明確な課題。自施設でも ACP への取り組みを少しずつすすめていきます。
- ・ 「穏やかに過ごすこと」の心掛ける 6 つの事を学ぶことができました。コロナウイルスが 5 類になったとはいえ、まだまだ面会や外出、外泊など制限が設けられている中で、看取り期に入った場合の御本人と御家族の残された貴重な時間をもっと濃いものにしていきたい。
- ・ 介護医療院を知る機会となった。病院やその他施設との差について考えるよい機会となった。
- ・ グループホームで看取りを望まれても疾患から医療依存度が高くなった場合の行先として最適と思う。

日本アドバンス・ケア・プランニング研究会第 9 回年次大会 迫る!!

2024 年 9 月 21 日(土)北海道札幌市で開催します。【対面参加+後日オンデマンド】、【後日オンデマンド】で参加受付可能です。

参加希望の方は以下のホームページから申し込み可能です。

http://jacra.umin.jp/acp_meeting9/index.html

○第 3 回合同会議 令和 6 年 11 月 25 日(月)「感染管理と感染まん延時の具体的方法」

18:30~20:00 豊平区民センター(Zoom のハイブリット開始)の予定

感染対策向上加算を算定している医療機関(西岡病院)において、感染制御チームにより、職員・地域の医療介護従事者を対象とした研修会として、感染発生時を想定した取り組み等を行います。

○第 4 回合同会議 令和 7 年 3 月 31 日(月)「医療と介護における栄養情報連携の推進」

とよひら・りんく事務局 西岡病院 岡村・横田 ホームページ: <http://www.toyohiralink.jp/>

電話 011-853-8322(平日 9-17 時) メールアドレス: info@toyohiralink.jp